

令和 8 年度 第 1 回長崎市地域包括支援センター運営協議会議事録要旨

1 日 時 令和 8 年 7 月 7 日 (火) 19:00～20:30

2 開催場所 長崎市役所 7 階大会議室 AB (対面開催)

3 議 題

- (1) 令和 7 年度長崎市地域包括支援センター活動報告について (報告)
- (2) 令和 6 年度地域包括支援センターの事業評価について (報告)
- (3) 長崎市地域包括支援センターにおける令和 8 年度包括的支援事業実施方針について (報告)
- (4) 令和 7 年度長崎市地域包括支援センター決算及び令和 8 年度予算について (報告)
- (5) その他

4 配布資料

(1) 事前配布資料

- ・ 長崎市地域包括支援センター運営協議会 委員名簿
- ・ 令和 8 年度第 1 長崎市地域包括支援センター運営協議会 会議次第
- ・ 資料 1 令和 7 年度長崎市地域包括支援センター活動実績
- ・ 資料 2 令和 7 年度長崎市地域包括支援センター活動報告 (A3 版が 1 枚)
- ・ 資料 3 令和 6 年度地域包括支援センターの事業評価
- ・ 資料 4 令和 8 年度長崎市地域包括支援センターにおける包括的支援事業実施方針
- ・ 資料 5 長崎市地域包括支援センター令和 7 年度決算及び令和 8 年度予算
- ・ 参考 令和 7 年度長崎市地域包括支援センター活動紹介

5 委員及び事務局の発言内容等

【事務局】 配布資料の確認、本協議会の目的説明、部長挨拶、新任委員・事務局の紹介

本日出席の委員数 19 名 (欠席 1 名)

議題(1) 令和 7 年度長崎市地域包括支援センター活動報告について(報告)

【事務局】

事前配布資料 令和 7 年度長崎市地域包括支援センター活動実績（資料 1）、令和 7 年度長崎市地域包括支援センター活動報告（A3）（資料 2）について説明。

【委員】

独居高齢者の統計データがあれば教えてほしい。今後の対応策や取り組みはどのようなことを行うのか。

【事務局】

令和 2 年国勢調査で 65 歳以上単身世帯は 28,881 世帯（世帯全体の 15.4%）。2040 年には 35,000 世帯超（21.5%）に増加するといわれている。現在、民生委員の協力で友愛訪問や、ふれあい訪問収集事業等で安否確認を行っているが、今後国が示す身寄りのない高齢者支援の動きと向き合って地域包括支援センターと協力して取り組んでいく。

【委員】

独居や身寄りのない高齢者がとても増えてきている印象だが、地域包括支援センターにおける成年後見制度の申立て支援とは具体的にはどのようなことをしているのか。また、成年後見支援センターと連携した件数はどのくらいか。

【事務局】

資料 1 権利擁護の成年後見制度に関する相談状況で 8 ページ h「申立まで支援した件数」に示しているとおおり、制度説明から専門職との連携等により申立支援をした件数が 49 件ある。また、長崎市権利擁護・成年後見支援センターの相談実績は、令和 7 年度は 400 件を超え、延べ支援件数は約 3,500 件と聞いている。市長申立件数は 10 件以上あり、必要な方を成年後見制度につなげることができていると考える。

【委員】

独居高齢者の課題として、買い物困難、バスの便の減少等の問題、住宅改修や転居の困難等がある。社協や行政の住宅援助と交通機関充実を検討いただきたい。

【事務局】

買い物、住まいの課題は認識している。地域ケア推進会議で地域の課題を検討したり、公共交通対策室状況を伝えたりしているところもある。住まいについては、長崎市において令和 8 年度に居住支援協議会を設置する予定で勉強会を始めたところであり、複数の地域包括支援センターからも参加いただいて

いる。市の関係課とも連携しながら取り組んでいきたい。

【会長】

独居高齢者問題は推計を超える速度で進んでいる。長崎市は地理的課題を踏まえた対応が必要と考える。

議題(2) 令和6年度地域包括支援センターの事業評価について(報告)

【事務局】

事前配布資料 令和6年度地域包括支援センターの事業評価(資料3)について説明。

【委員】

評価指標はどのような項目で構成されているか。また、評価が低かった項目はどのような内容で低くなっているのか。

【事務局】

資料3-1に示すとおり、8つの項目で構成されている。各項目は1～数個の○×方式の評価質問で構成されている。市と包括の評価項目は異なる部分がある。新規追加の「地域包括ケアシステム構築・推進」は圏域の現状・ニーズ把握が焦点となっている。評価が低かった地域包括支援センターが多かった項目としては、「地域包括ケアシステムの構築・推進」において、センターが行う実態調査によって圏域の現状やニーズを把握しているかというもの。また、「組織運営体制」では個人情報管理はこれまで記録の有無を問う質問内容だったものが運用管理についてより深く問うものに変化したために、実施できていない地域包括支援センターが多かった。

【委員】

高評価の地域包括支援センターの取り組みを低評価の地域包括支援センターと共有したら改善していくのではないかと。

【事務局】

地域包括支援センター間で、高評価の地域包括支援センターで行っている工夫等を参考事例として共有する場を設けることで改善を図りたい。

【会長】

客観的なデータ提示だけでなく、改善するためにはどう対応するかということを共有し、全体的に向上させていきたい。

議題(3) 長崎市地域包括支援センターにおける令和8年度包括的支援事業実施方針について(報告)

【事務局】

事前配布資料 資料4 令和8年度長崎市地域包括支援センターにおける包括的支援事業実施方針について説明。

質疑なし

議題(4) 令和7年度長崎市地域包括支援センター決算及び令和8年度予算について(報告)

【事務局】

事前配布資料 令和7年度長崎市地域包括支援センター決算及び令和8年度予算について(報告)について説明。

【委員】

深堀・香焼地域包括支援センターの包括的支援事業が令和7年度決算は4,400万となっているが、令和8年度の予算は2,400万になっている。2,000万減少しているが何か理由があるのか。

【事務局】

確認させていきたい。

議題(5) その他

【委員】

三重・外海地域包括支援センターと琴海地域包括支援センターが統合してからの活動の中の課題や市の方から助言を行う等の支援体制があったか。

【事務局】

三重地区にはサブセンターとして相談窓口は継続して設置している。相談件数は比較すると減少はみられない。

【事務局】

北総合事務所地域福祉課では、令和7年12月統合にかかる引き継ぎのところから関わっているが、特に地域住民からの苦情はない。認知症カフェ等も継続して実施していただいております、地域住民も安心している。統合したことでエリア交流が活発化し、三重・外海、琴海の各エリア活動情報の共有で相互刺激があり、新しい発見があった。困難事例ケース等では引き続き協力しながら活動していきたい。

【委員】

資料1の統計データで、昨年度の資料には旧式見中学校区も載っていたと認識しているが、今年度の資料からは抜けている。旧江平中学校区は載せているが、旧式見中学校区はない。高齢化率の高い地域であるため、経年比較のため同じデータを載せていくことが必要だと思われる。

【事務局】

示し方を確認する。

【委員】

厚労省の社会保障審議会において、地域包括支援センターへのリハビリ職配置が明記された。リハビリ職としてどのような形で関わりがよいか考えているところ。

【事務局】

国からは、地域包括支援センターへのリハビリ職の配置については市の判断で進めてよいという通知がきているが、長崎市では在宅支援リハビリセンターとの関連も含めて検証していく。